



ワイヤロープ点検チェックシート (1/2)

管理番号		使用開始年月日	年 月 日
------	--	---------	-------

点検項目	点検実施年月日										点検方法	廃棄基準	
	点検者												
	実施日												
全体	キンク										プラスキンク(よりの締まる方向のキンク)やマイナスキンク(よりの戻る方向のキンク)の有無を点検する。	局部的によりが詰まったり、戻ったりして、キンクが発生したもの。 	
	つぶれ(偏平)										局部的に押しつぶされた部分がないか点検する。ノギスで短径 d_{min} および長径 d_{max} を測定したとき、 $d_{max}/d_{min} \geq 1.5$ となったもの。 	局部的な押しつぶしによる偏平があるもの。 	
	腐食(錆)										表面の腐食の有無を点検する。有れば布地で拭いて取れる薄い錆が、表面に凹凸が生じているかを調査する。内部はスパイク等でストランドを持ち上げて調査する。	素線表面にピittingが発生して、あばた状になったもの。内部腐食によって素線が緩んだもの。 	
	摩耗										全長、全周にわたり摩耗の状況を点検する。	素線と素線の隙間がなくなったもの。 	
	うねり										うねりの有無を調査する。	著しくうねっているもの。または局部的なうねりの幅(d_1)がロープ径(d)の4/3以上になったもの。 	うねり 
	ストランドの落込み、浮き										ストランドの落込みや浮きがないか点検する。	ストランドの落込み、飛び出し、かご状のものがあるもの。 	
	きず										全長、全周にわたりきずの有無を点検する。	有害な欠陥が認められるもの。 	
	その他										心綱のはみ出し、曲がり、素線の飛び出し、テンパーカラー等の有無を点検する。	心綱のはみ出し、曲がり、テンパーカラーのあるもの。 	

点検結果は、廃棄基準に基づき異常のないものは「レ」、廃棄基準を超えているものは「X」を記入し、廃棄もしくは交換をしてください。詳しくはコンドーテック吊り具カタログP14をご覧ください。このチェックシートは、当社が作成した簡易的なサンプルです。必要に応じてお客様の使用環境・条件に適した点検項目を決めて行ってください。

作成:コンドーテック株式会社



ワイヤロープ点検チェックシート (2/2)

管理番号		使用開始年月日	年 月 日
------	--	---------	-------

点検項目	点検実施年月日										点検方法	廃棄基準														
	点検者																									
	実施日																									
全体	断線										<p>全長、全周にわたり断線の有無を点検する。ある場合は、山切れ谷切れの状況を入念に調査し、断線本数を数える。</p>  <p>C : クラウン断線(ロープ外接円と接する部分[山断線]の断線) N : ニップ断線(ストランド相互が接する部分[谷断線]の断線)</p>	<p>[クラウン断線(山切れ)の場合] ロープ径の6倍(約1ピッチ)の範囲内の断線を数え、使用されているワイヤロープの構成を確認して、下表の断線数以上あるもの。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ワイヤロープの構成</th> <th>可視断線数 点検範囲 (6d)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6 × 24</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>6 × 37</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>IWRC6 × Fi(25)</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>IWRC6 × Fi(29)</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>IWRC6 × {IWRC6 × S(19)}</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>7 × {IWRC6 × WS(36)}</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>[ニップ断線(谷切れ)の場合] 1本でもあるもの。</p>	ワイヤロープの構成	可視断線数 点検範囲 (6d)	6 × 24	9	6 × 37	10	IWRC6 × Fi(25)	5	IWRC6 × Fi(29)	6	IWRC6 × {IWRC6 × S(19)}	8	7 × {IWRC6 × WS(36)}	12
	ワイヤロープの構成	可視断線数 点検範囲 (6d)																								
6 × 24	9																									
6 × 37	10																									
IWRC6 × Fi(25)	5																									
IWRC6 × Fi(29)	6																									
IWRC6 × {IWRC6 × S(19)}	8																									
7 × {IWRC6 × WS(36)}	12																									
加工部分・アイスブライズ・アイ圧縮止め	形くずれ										<p>アイ部分にストランドの緩み等の形くずれや偏平、ロープのずれ等がないかを点検する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●アイ頂部で、著しく心網の飛出したもの ●アイ頂部で、著しくつぶれを生じたもの ●アイ部分で、ストランドの緩みがあるもの 														
	断線										<p>ロープを曲げたりしてアイ部分やスリーブ付根部分の断線の有無を点検する。</p>	<p>加工していない部分の可視断線数に準じる。</p>														
	抜け出し											<p>アイスブライズ:ストランドの抜け出しの兆候がないか点検する。 アイ圧縮止め:片端に凹みが生じたり、抜け出しの有無を点検する。抜け出しの点検は目視、マーキング等による。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●差し終り部でストランドの抜け出しがあるもの。 ●片端に凹み、抜け出しのあるもの。 													
	スリーブの変形、摩耗											<p>スリーブに変形、つぶれ、亀裂および割れ等が発生していないか点検する。 腐食、きず等がないか点検する。 スリーブの摩耗状況を調査する。</p>	<p>スリーブの変形、つぶれ、亀裂、割れ等があるもの。 著しい腐食、きずが認められるもの。 スリーブが摩耗して、元の径の95%以下になったもの。</p>													
	その他																									

点検結果は、廃棄基準に基づき異常のないものは「レ」、廃棄基準を超えているものは「×」を記入し、廃棄もしくは交換をしてください。

詳しくはコンドーテック吊り具カタログP14をご覧ください。

このチェックシートは、当社が作成した簡易的なサンプルです。必要に応じてお客様の使用環境・条件に適した点検項目を決めて行ってください。

作成:コンドーテック株式会社